

令和4年6月15日

取手市議会議長

金澤克仁 殿

福祉厚生常任委員会

委員長 関川 翔

委員会中間報告書

本委員会に付託の調査事件について、会議規則第45条の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 調査事件名 令和3年第2回意見交換会時要望・意見に関する当委員会所管事務
- 2 調査の経過 令和4年3月4日、6月15日
- 3 意 見 別紙のとおり

【福祉厚生常任委員会】 令和3年第2回市民との意見交換会（要望・意見）

	要望・意見	回答
1	<p>安心して子どもを産み育てられるよう、また、若い方々がさらに転入していただけるように、子どもの発育に関わる支援の充実、救急医療体制の拡充等、子育てしやすい様々な支援等々のある、魅力あるまちづくりのさらなる検討を進めてほしい。</p>	<p>現在、取手市では母親の妊娠期から始まる子育て支援策に取り組んでいます。例えば、妊娠期から乳児期の支援策として市内4つの支援センター運営や子育て世代包括支援センターで利用者支援員が交流事業・情報発信・相談事業に取り組み、発育や発達に関しても乳児期には保健センターで発達相談や親子教室を実施しています。</p> <p>また、近年は全国的に待機児童問題がありますが、取手市では「待機児童ゼロ」を目標に市内公立保育所の新設や子育て世代の育児環境を整えるため、一時保育、病児保育、早朝・延長保育を実施し、令和3年度は待機児童ゼロを達成しています。さらに幼児期では、公立及び民間の教育保育施設を臨床発達心理士が巡回相談を実施しています。5年ごとに実施している子ども・子育て支援アンケート調査では「今後も継続して取手市に住み子育てする予定か」の項目では、89.2%が「住み続けたい」としており、5年前と比較すると10.1%増加しています。</p> <p>市議会としましても、さらに子育て世代が住みやすい取手市を目指し、子育て支援における政策や事業を提案していきたいと考えております。</p>
2	<p>高齢者のワクチン接種について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者は○日～○日までに□□（場所）で打つようにと決められたほうがよかった。</li> <li>・パソコンでの予約はできない、1日中電話、公民館に直接行ったら長蛇の列、大変だった。</li> <li>・特に高齢者には分かりやすい説明と丁寧な対応が必要。（何に対しても）</li> <li>・打つ・打たないの判断が自己責任なので、ワクチンについての疑問や不安などの相談窓口があるとよい。</li> </ul>	<p>高齢者のコロナワクチン初回接種は、予約時の混雑をできるだけ防ぐ目的で、85歳以上から65歳以上の年齢区分にて、接種券の発送日をずらしながら順次発送し、発送時期に応じた公民館等での予約会において、インターネット予約を支援していました。しかし、予約に際しては、コールセンターの電話が殺到し、つながりにくい状況が続いたり、予約会の会場によっては待ち時間が長くなってしまったことなど、ご迷惑をおかけした場面もあったと報告を受けています。</p> <p>ワクチン接種に関しまして、個別通知、広報とりで、市ホームページ等により重要な情報を適宜お知らせしながら、相談窓口として保健センターでは、土日も含めた随時相談に対応し、国や県等に設置された相談窓口の周知も徹底しております。</p> <p>国は4回目の接種に向けて体制を5月末までに整えるよう自治体に通知しています。市議会としましても皆さんがスムーズに予約・接種できるよう注視してまいります。</p>

3	ワクチン3回目の接種について。小学生のワクチン接種を中止してほしい。	<p>5歳から11歳のワクチン接種は、令和4年1月に薬事承認されたことを受け、1・2回目接種としての初回接種を3月から開始したところです。この年齢層における3回目接種に関しては、現時点において国の方向性が全く示されていない状況です。</p> <p>このタイプのワクチンを体に入れることは前例がなく、特に低年齢なので保護者は悩んでいると考えられます。打ったほうがよい、打たないほうがよいとは言えないため、市議会としましても、今後も国の指針を注視してまいります。</p>
4	県内一位を目指してほしい（ウォーキング、チューブ体操人口比等々、どの事業でもよい。これにより活性化、盛り上がってくるのではないか。茨城県は今年も魅力度ランキング最下位。私は総合型地域スポーツクラブを運営している。主として健康や体力づくりを通して、全国一位の事業をつくりたい！）	<p>取手市では、市民全体の健康づくりの意欲の底上げを図りたいという考えの中で、令和3年度の事業の1つとしてウォーキングマップ「ぷらっと取手駅周辺散策MAP」を作成しました。市には、茨城県認定の「ヘルスロード」のウォーキングマップがありますが、今回は取手第二高等学校の生徒さんから提案のあった、高校生等の若者にも活用される散策マップを作成しました。駅周辺の見どころや河川敷から見渡す風景、また高低差のある取手市ならではの複数の坂道や国際色豊かな飲食店が点在していることなどを紹介する魅力的なマップとなっており、公共施設や市内高校にも配置し老若男女問わず取手市の魅力に触れていただきたいと考えています。また、スタンプラリーを用いたウォーキングイベントも計画しております。</p> <p>市議会としましても、引き続きこうした事業を注視・提案し、子どもから高齢者まで、世代を超えて健康づくりのできる取手市を目指していきたいと考えています。</p>